

令和3年度 第1回 岐阜市地域福祉推進委員会 書面会議にていただいたご意見について

項目	該当箇所(資料)	いただいたご意見	今後の対応等
1	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 9～15頁	<p>○福祉まるごと支援員への期待 特にお困りの方ほど、「相談したくても、どうすればよいか分からない。」とか「こんなことを相談するのは申し訳ない。」といった意識が高いかと思えます。学校現場でも、SOSの出し方教育に力を入れ、相談方法や相談相手を広げたり、アンケートを年に3回実施したり、問題がない児童でも定期的に教育相談をしたりするなど、まさに、相談体制の構築に努めています。</p> <p>組織での対応を要することについては、関係者によるケース検討会議を開き、校内での対応や関係諸機関へつなぐことなどを決めていきます。</p> <p>実生活で課題をかかえていらっしゃる方の課題を顕在化するためにも、今後は、福祉まるごと支援員の活動に期待が高まります。</p>	<p>8050問題などの複合化した課題や、セルフネグレクトや社会的孤立など、支援ニーズは多様化しております。今後も、福祉まるごと支援員を中心とした支援機関の連携による支援体制の構築などの取り組みを推進してまいります。</p>
2	【資料1】 重点項目(4) 担い手の育成と発掘 32頁	<p>○福祉体験学習の充実 コロナ禍でも多くの学校が福祉体験学習を実施したことから、教育の場でも地域福祉を重視していることが分かります。本校では、社会福祉協議会に相談して、感染対策を踏まえ、できる範囲で実施しました。学習後の児童の感想を読むと、活動制限があったにもかかわらず、体験してその苦労や必要性がよく分かったという声が多いと感じました。児童によって、感じ方は異なりますが、こういった時期の学びが、将来、福祉の道に進むきっかけとなる可能性が高いので、コロナ禍でもできるという実績をアピールしていただき、多くの学校で福祉体験学習を実施してほしいと願います。教育課程の決定権をもつのは校長ですので、校長会に出向いてアピールしていただくと効果的かと思えます。</p> <p>12月の常磐まちづくり協議会において、岐阜市地域包括支援センター北部様から、学校の福祉学習が必要ならいつでも外部講師として呼んでほしいとお声がけをいただきました。コロナ禍でなかなか実現できませんが、今後の学校における福祉学習においては、地域福祉の実際についてご教授いただき、将来的に地域とつながる福祉学習が展開できることを願います。</p> <p>その中で、小学校でもできそうな生活支援サービス(小さな手助け)の体験や、サロン活動への参加などができるよう努めたいと思えます。</p>	<p>学校現場において地域福祉推進のため、学習の機会を持っていただいていることに、社協としても非常にありがたく、感謝しております。</p> <p>子どもたちに一人ひとりが互いに大切な存在として認め合い尊重し合うことや福祉に関心を持ってもらうため、福祉体験学習やそこから広がる地域交流体験などを進めてまいります。</p> <p>また、福祉教育の取り組みを教育委員会事務局と協議の上、小中学校長会等に出向いてアピールし、各学校の校長先生をはじめ先生方と連携してまいります。</p>

項目	該当箇所(資料)	いただいたご意見	今後の対応等
3	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制の構築について 4～8頁 重点項目(4) 担い手の育成と発掘 26～31頁	総合的な相談体制について(加納西支部)、担い手の育成と発掘について(金華支部)の事例が紹介されているが、市内全体を見ると助け合い体制の整備が遅れているように感じます。促進策を具体的に検討すべきではないか。	既に先行して助け合い活動を行っている地域の事例について、社協だよりなどで住民に向けて広報を行うとともに、支部長会等を通じて紹介していきます。また、未実施地域について、担当の地域福祉コーディネーターを通して情報提供に努め、地域の想いを形にするような新たな活動の創出に努めてまいります。
4	【資料1】 重点項目(2) 岐阜市成年後見センターの設置 18～21頁	岐阜市成年後見センターの設置については、全体的に認知が十分とはいえず。	成年後見センターの職員が市内19カ所の地域包括支援センターを訪問し、成年後見センターの周知を行うなど、相談受付機関に対しては認知が進んできております。 しかし、市民に対しては、令和3年7月9日に開設記念講演会を実施しましたが、コロナ禍のため、十分な広報ができませんでした。来年度も、市民を対象とした講演会や相談会等を実施していく予定です。 また、これまでもホームページや広報で周知してきましたが、さらにSNSなどを活用し様々な機会をとらえて周知を進めてまいります。
5	【資料1】 重点項目(3) 社会福祉法人連携・協働の基盤づくり 23頁	社会福祉法人連携・協働の基盤づくりの動きをもう少し詳しく知りたいので、かわらばん その1～3の資料を送って欲しい。	「設立準備委員会かわらばん」は、岐阜市社会福祉法人連絡会の設立に向けた準備委員会の活動について、市内対象法人に向けての広報誌として、計3回にわたり発行いたしました。 ご要望いただきました「設立準備委員会かわらばん」その1～その3につきまして、別添にてご報告いたします。
6	【資料1】 重点項目(4) 担い手の育成と発掘 25頁	○(仮称)子ども福祉委員 大きな期待を寄せる事業であり、学校、地域と協力し、具体化を試みてください。支部助成金にメニュー化することも一考かと思えます。	ご案内の事業は、次の世代に地域福祉活動への関心を持ってもらい、将来の担い手となるよう、今後も学校と地域とをつなぎながら、事業実現の方策を検討してまいります。
7	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制の構築について 4～8頁	相談者が相談に来る難しさ(メンタル部分、会の周知等)を実感された後、具体的にどのように改善・修正されたのかわかるとよいと思います。	相談会場が身近な地域にあることが、気軽に立ち寄りやすいという側面がある一方、運営に地域住民が関与していることが、相談者によっては、他人の目が気になるといったことが課題となっており、地域住民への周知強化やプライバシーの確保など、より多くの方が相談しやすい相談会となるよう地域とともに運営方法や環境づくりを模索しております。
8	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制の構築について 9～15頁	それぞれの機関が役割を分担することで負担が減ったり、時間の軽減につながる一方で、利用者の不利益(手続きや書類が増えたり、窓口などたらい回しにされる、又は責任転嫁等)では本末転倒です。 「③福祉まるごと支援員がハブとなり」はとても重要だと感じました。	地域福祉推進計画の重点項目である「総合的な相談体制の構築」の取り組みとして、市の関係部署に福祉健康窓口連携ヘルプデスク(以下「ヘルプデスク」という。)を設置し、複数部署にまたがる相談について、ヘルプデスクが窓口的役割を果たし相談内容を関係部署で共有することにより、各窓口で同じ相談をする負担を軽減するなど、利用者の困りごとに迅速な対応を取れるような仕組みづくりを進めております。 今後も、各支援機関が連携し、利用者の方がスムーズかつ的確に支援が受けられるよう利用者の視点から体制づくりを行ってまいります。

項目	該当箇所(資料)	いただいたご意見	今後の対応等
9	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 4～8頁 重点項目(4) 担い手の育成と発 掘 26～31頁	○加納西支部の「ふれあいいきいきサロン」との併催は利用したい方にはとても行きやすいと思う。(相談するという事はとても勇気のいる事) “ちょっとした困りごとを、地域で手助けできるようなコミュニティの構築”とても大事な事 ○福祉出前講座の金華支部の活動もすばらしい事例でした。 加納西支部、金華支部、共に前向きな行動が伝わってきて、継続される事を祈っております。	ご案内のとおりちょっとした困りごとを気軽に相談できる楽しい場づくりを大切に、地域福祉コーディネーターを中心に地域の住民や様々な団体と連携しながら、事業を推進してまいります。
10	-	それぞれの課題解決に向けて一つずつ取り組んでいただき、整理され、次年度への方向が見い出されたことは大きな成果と感じております。 ただ、形にしたままではなく、歩みだして市民の皆様には福祉のあたたかな取り組み策を感じていただかないと次年度の成果には結び付きませんね。 直すべきことに気付き⇒考え⇒歩める福祉を願っています。	今後も、各年度の実績を評価し、課題を洗い出ししながら、市民主体の視点でそれぞれの施策に取り組んでまいります。
11	【資料1】 総合的な相談体制 の構築について 4～17頁	○総合的な相談体制の構築について 福祉なんでも相談会を地域包括支援センターの協力があって開催はしているが、実際に相談は1件であり、地域包括支援センターが対応している。 福祉まるごと支援員も1年間に8件という実績に終わっている。 相談も地域包括支援センターからの相談を受け付けるという垣根があり、だれもが相談できるという状況になっていない現状になっている。 コロナ禍ということもあり、人の集まりを極力減らしている現在の状況を考えると、これからもさらに孤立化していく傾向にある。 その中でどのように活動を広げていけるかが課題になっている。	ご指摘いただいた相談実績につきましては、今後、地域住民や地域包括支援センターなどの相談支援機関への周知を強化するとともに、福祉まるごと支援員が中心となって、属性を問わない相談支援体制の強化に努めることで、対応件数の増加を図ってまいります。 また、コロナ禍における地域での交流の場づくりについても、ZOOMなどのオンライン会議システムの活用を検討するなど、つながりを維持する取り組みを進めてまいります。
12	【資料1】 重点項目(2) 岐阜市成年後見セ ンターの設置 1 8～21頁	○岐阜市成年後見センターの設置 成年後見センター開設をしたが、ケース検討会議を行っているが、以前から市長申し立てなど時間がかかっていたものが速やかに行えるようになるという。 専門職として関わっている人たちが安心して後見人としての職務を行うことができるような場としての役割を持つことができることを期待する。 後見人制度の正しい理解を広めていくことなど、今後の課題も多い。	成年後見センターが設置されたことで、専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士)が参加するケース検討会議の場で、成年後見人の候補者を検討する「受任者調整」を行うようになり、申し立てから審判までの期間が短縮されております。 成年後見センターの機能としては、広報機能、相談機能、後見人支援機能があり、広報機能として、市民向けの講演会や福祉関係者への研修会の実施、相談機能として、成年後見制度等に関する相談受付、後見人支援機能として、後見人の悩みや相談を受けたり、法律や福祉の関係者との連携による後見人の支援を行っています。 今後も、これらの取り組みを進めてまいります。

項目	該当箇所(資料)	いただいたご意見	今後の対応等
13	【資料1】 重点項目(3) 社会福祉法人連携・協働の基盤づくり 23頁	○社会福祉法人連携・協働の基盤づくり 社会福祉法人連絡会を設立し、岐阜市内の社会福祉法人の半数以上が参加している。地域に根差した交流スペースの提供や、食堂の提供など、人の集まりやすい環境を生かすことができている。 福祉担い手の育成においては地域によりかなり差があり、積極的に取り組みを行っている地域においてはかなり成果を上げているようだが、活動内容など広めていく必要がある。 福祉体験などサロンや小学校の体験学習など将来の担い手の育成にも一役買っている。	社会福祉法人連携・協働の基盤づくりにつきましては、今後も社会福祉法人連絡会を通じて、各法人の持つ強みや資源と、地域をつなぐ取り組みの創出を図ってまいります。 担い手の育成につきましても、先進事例の他地域への横展開を図るとともに、福祉体験と地域を結ぶ取り組みを進めてまいります。
14	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制の構築について 9～17頁	図の中に民間支援団体の存在がありません。 相談を受けることも、対応することも多く、連携は必要だと思います。恐らく、民間団体側で、この動きを把握している団体が少ないのではないかと。 周知だけでも丁寧にされると良いです。	ご意見のとおり、困りごとを抱える方への支援に当たっては、公的な支援機関だけでなく、民間支援団体との連携や協力が必要不可欠であると考えております。 地域福祉計画の重点施策である「困りごとを受け止める体制づくり～地域共生社会の推進に向けて～」においても、地域の方が抱える困りごとを、団体や行政の垣根を超え、地域が一体となって受け止め、解決に向けて取り組む体制を推進することとしており、今後も、民間支援団体と協力した支援を推進するとともに、岐阜市の取り組みの周知に努めてまいります。
15	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制の構築について 11～15頁	事例の個別詳細は、この仕組みがある程度機能していると感じました。 一方、こういった支援の変化により、当事者に良い変化がどのように生じているかが記されていない点が気になります。 最終的には、当事者が少しでも安全・安心に暮らせることなので、そこが知りたいです。	ご意見のとおり、支援の取り組みに当たっては、当事者側の支援を受けたことによる変化が重要と考えます。 今回の事例紹介におきましては、地域福祉推進計画の重点項目である「総合的な相談体制の構築」における「福祉まるごと支援員」の取り組みとして、具体的な業務内容について記載させていただきましたが、今後、事例紹介に当たっては、この点も考慮しながら資料作成を行ってまいります。 なお、今回の事例におきましては、地域包括支援センターや民間支援団体などと連携して、父母の施設入所継続や、家計管理のための成年後見制度の活用のため支援を行いました。本人につきましては、保健センターとアウトリーチを重ねることにより、本人から保健センターや福祉まるごと支援員に電話相談をしてもらえるような関係を築くことができました。引き続き、社会とのつながりづくりのための支援を行ってまいります。
16	—	全体を通じて、福祉は全世代にそれぞれの課題があるにも関わらず、現状では高齢、障がいというボリュームゾーンに偏った取り組みが目立ちます。 孤立しがちな若者に対する支援を考えることも、地域福祉の役割として重要なのではと思います。	ご意見のとおり、地域福祉を取り巻く環境は、地域社会からの孤立などの問題や、制度の狭間により必要な支援が届かないなど、多様化しています。 令和4年度からの重層的支援体制事業の実施に当たっては、孤立しがちな若者の社会とのつながりづくりに向けた支援も含め、地域で困りごとを抱える方への包括的な支援を実施してまいります。

項目	該当箇所(資料)	いただいたご意見	今後の対応等
17	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 16～17頁	○岐阜市版重層的支援体制整備事業の実施について 民生委員・児童委員は、地域の高齢者等に対して、福祉に関する様々な相談に応じ、行政はじめ関係機関等に必要な支援の「つなぎ役」として活動しています。 今までは、複雑化・複合化した課題を抱える個人や世帯等について、行政や関係機関等の縦割り等の弊害により、早期に解決することが困難でありました。 重層的支援体制が確立され、実施されれば民生委員は「つなぎ役」として活動しやすくなり、課題を抱える人たちにとっては、早期の解決が期待されます。	ご意見のとおり、複雑化・複合化した課題を抱える個人や世帯等への支援に当たりましては、支援を必要としている方に支援機関が速やかにつながることを重要と考えます。 令和4年度からの重層的支援体制整備事業の実施に当たっては、庁内庁外の支援機関の連携の強化に努め、困りごとを抱える方を、必要な支援機関につなげられるような取り組みを一層推進してまいります。
18	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 4～8頁 重点項目(4) 担い手の育成と発掘 25～32頁	「福祉なんでも相談会」の実施は、とても良いことだと思います。 しかし、なかなか相談に来る人がいないなど、相談会をどれだけたくさんの人々に周知してもらうかが難しいことのように感じます。 どんな事案にしても地域の人々皆に知ってもらうようにするにはどうすれば良いのか。 障がい者だけではなく、本当に困っている人たちがいかに相談に来れるようにするか今後の課題地域ごとに取り組んでいけたら良いと思います。 住民の数が減少していく地域では、誰もが住みよい、安心・安全なまちづくりとして再検討していかなければいけないことが多々あると思われます。地域の皆で協力して良いまちづくりをしていきたいものです。	「福祉なんでも相談会」の運営方法につきましては、広報誌や地域団体との連携などによる地域住民への周知強化と、プライバシー確保などにより相談者が会場に足を運びやすい環境づくりを、地域とともに模索しながら事業を進めてまいります。 また、生活支援サービス(小さな手助け)といった地域住民の支え合い活動の推進を通じて、いつまでも安心して住み続けることのできる地域づくりを進めてまいります。
19	-	コロナ禍で地域で行えていた事が減っていると感じられます。 そんな中で、人と人とのつながりを途切れさせない為にも、ZOOMを活用するなど、違った方法で顔を見れる機会があると良いと感じます。 委員会についても書面ではなくZOOM等を利用できないでしょうか。 資料を送っていただけるとはありがたいですが、説明を受けた部分もありました。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度に続き、今年度におきましても書面開催とさせていただきます、委員の皆さまには、ご不便をおかけしております申し訳ございません。 今回のように感染動向が急激に変わり、開催方法の変更を余技なくされる状況ですと、本市の設備環境等により、急遽オンラインによる開催を行うことが厳しいのが現状ですが、委員の皆さまに、より良いご審議をいただきますよう、今後も開催方法について検討してまいります。
20	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 9～17頁	支援員の実績は理解できました。 それを実行した上で、次の課題は出てきたのか教えていただきたいです。	今年度は、地域福祉推進計画の重点項目である「総合的な相談体制の構築」の第2段階の取り組みとして新たに「福祉まるごと支援員」を設置し、困難事例に向けた対応を行ってまいりましたが、「福祉まるごと支援員」の取り組みが十分に認知されていないのが現状です。 令和4年度からの重層的支援体制整備事業の実施に当たり、「福祉まるごと支援員」を庁内に1名配置(増員)し、「福祉まるごと支援員」と支援機関とのネットワークづくりを推進してまいります。

項目	該当箇所(資料)	いただいたご意見	今後の対応等
21	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 9～17頁	○チーム型支援体制づくりにあたり、コロナ禍でも可能性の高い方法 例えば、リモート等を活用した顔のみえる関係が築けないか。 地域には様々な専門職が存在するので、行政と共に地域で支援者の抱え込み予防に取り組みたい。	岐阜市では、庁内外の支援関係機関で「福祉相談窓口連携会議」(以下「連携会議」という。)を設置しています。 連携会議では、支援関係機関同士の連携の事例の紹介やグループワークなどを実施し、各支援関係機関の連携と相互の相談支援の内容の把握や、他の支援関係機関の支援のノウハウの共有を図っております。 今後も、連携会議などの取り組みや、実際の支援における地域との協力や連携などを通して、支援関係機関同士の顔の見える関係を深めてまいります。
22	【資料1】 重点項目(1) 総合的な相談体制 の構築について 4～8頁 重点項目(4) 担い手の育成と発掘 25～31頁	○担い手の育成と発掘について 金華支部のアンケート結果から若い世代の参加意向があることに、明るい未来を感じた。この取り組みが他地域にも広がり共生社会構築の可能性に期待します。	金華支部の取り組みは、将来の担い手となり得る若い世代を発掘した好事例であり、この事例をもとに他地域でも担い手の発掘を図ってまいります。

かわらばん その1

作成：令和3年4月

岐阜市社会福祉協議会
事務局

「かわらばん」発行します

地域での顔の見える関係づくりや法人間の緩やかなつながりの構築を目的とした、岐阜市社会福祉法人連絡会の設立に向け、令和元年度より設立準備委員会が設置されました。

大津市社会福祉協議会への先進事例研修など、設立総会に向けた準備を進めています。

今回、設立の進捗状況などを皆さまと共有するために、「かわらばん」を発行することになりました。岐阜ならではの法人連絡会の在り方を目指して協議してまいりますので、皆さまのご参加とご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(岐阜市社会福祉協議会 事務局)



大津市社会福祉協議会視察の様子

設立準備委員会より皆さまへ

「53.8%」。これは社会福祉法人の現況報告書（平成31年4月時点）に「地域における公益的な取り組みの実施」が記載された割合だそうです。今年1月開催の社会保障審議会福祉部会で示されました。

皆さんのところはどうか。日常生活又は社会生活上の支援を必要とする人に対して、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供することを一緒に考えていきませんか。

「光はいつもそこにある 私たちにそれを見る勇気があれば 私たちに光になる勇気があれば」

社会保障制度の隙間にある人とともに光を見る勇気、光になる勇気を出してみましよう。

法人規模はさまざまですが、防災、被災時などの共同の取り組み、職員研修なども考えていきたいと思えます。
(設立準備委員会委員長 松原)



令和2年度 設立準備委員会を開催しました



令和3年1月19日（火）岐阜市社会福祉協議会にて設立準備委員会が行われました。会議では昨年3月より延期になっている岐阜市社会福祉法人連絡会設立総会について、令和3年10月5日（火）に開催することが決められ、その後の研修会は12月に開催することが提案されました。その他、連絡会モデル事業である『子どもの居場所づくり事業』についての事業報告が行われました。

岐阜市社会福祉法人連絡会 準備委員会 委員紹介



長良福祉会 理事 松原隆行

連携・協働して
地域の福祉ニーズに
向き合っていきましょう。



豊寿会 サンライフ彦坂 理事長 豊田雅孝

岐阜市内社会福祉法人が
手をつなぎ、
想いをつなぎ
連携しましょう。



岐阜老人ホーム 施設長 林武

各事業所の強みや特徴を
活用した取り組みから
スタートしませんか！？



いぶき福祉会 事業部長 池田光巳

地域の困りごとを
社会福祉法人みんなで
一緒に考えていきましょう。

県社協主催「公益的な取り組みセミナー」のご案内

国では、支え合いのかたちの再編をめざす「地域共生社会」をキーワードとして、住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制を基盤に、地域福祉を軸にした施策の方向性が示されました。また、改正社会福祉法の施行により、「地域における公益的な取組」を実践することが社会福祉法人の責務とされ、社会福祉法人が地域社会で担う役割は、ますます重要になってきています。

このような状況のなか岐阜県社会福祉協議会においては、県内の社会福祉法人が連携・協働し、地域における公益的な取組を推進できるよう、各種別協議会等とともに、平成30年度より「ぎふ社会福祉法人地域公益実践推進事業〈結(YUI)プロジェクト〉」を実施しています。

これまで県社協では、「公益的な取り組みセミナー」として、結(YUI)プロジェクトの事業説明や全国先進事例の実践発表、県内の社会福祉法人の連携・協働の事例や市町村域の連絡協議会の実践についての講義等をおこなってきました。

今年度も本セミナーが計画されていますので、ご案内がありましたら、皆さまご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

地域における法人連携 モデル事業の報告

岐阜市社会福祉法人連絡会設立に先駆け、子どもたちの安心できる居場所として、ひとり親世帯を対象に「青春サポーター“よつば”」を実施し始め4年目を迎えます。

“よつば”では子どもたちの大切な未来を支える「きぼう」「きずな」「きたい」をキーワードとして、現在では子どもの居場所づくり事業、学習支援事業だけでなく、令和2年度より訪問支援事業、子ども見守り宅食支援事業により、課題を抱えやすい世帯の支援を行うことで、子ども同士や支援する大人とのふれあいの場づくりや、子どもの社会性や自主性などを育む活動を展開しています。

*「よつば」とは…岐阜市母子寡婦福祉連合会・社会福祉法人岐阜老人ホーム、一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク、岐阜市との協働でおこなっている事業です。



編集後記

高齢、障がいの種別では、8割をこえる法人様に参加頂いており、本事業への皆さまの期待をひしひしと感じております。

事務局も尽力してまいりますので、宜しくお願い致します。

岐阜市社協 釜



岐阜市社会福祉法人連絡会

入会状況

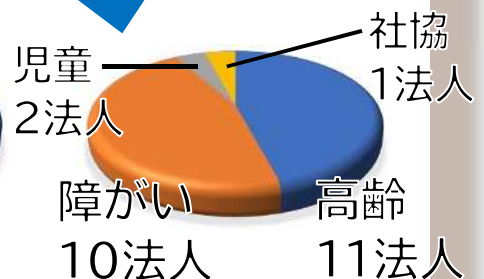
令和3年8月1日現在

岐阜市所管法人
45法人

入会状況



種別入会状況



- 加入法人：24法人
- 高齢：11法人
- 障がい：10法人
- 児童：2法人

問い合わせ↓↓↓

岐阜市社会福祉協議会 Tel：058-255-5511

岐阜市社会福祉法人連絡会 が発足しました！



会長あいさつ

岐阜市社会福祉法人連絡会は、平成30年12月の「社会福祉法人のつどい」を起点とし、令和元年11月より準備委員会をスタートいたしました。当初は昨年3月に設立総会を開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、延期となりました。しかしながら今日まで続けてきました連絡会の入会案内にご賛同いただきました法人は27法人を数え、本日、10月5日に設立総会が開催される運びになりましたことは、ともに活動してきました岐阜市社会福祉協議会を始め、多くの法人の皆様と関係各位のお力添えの賜物と感謝しております。

皆さまにご賛同いただきました設立趣意書にもごさいますが、平成28年に成立しました社会福祉法等の一部改正により、法人経営のガバナンス強化に加えて、地域における公益的な取組みが社会福祉法人の責務として位置づけられました。社会福祉法人は大きな転換期を向かえたわけであります。

私たち、社会福祉法人は、これまでも公益性・非営利性を備えた公的法人として、地域福祉の向上を図るという使命を果たすべく、それぞれが社会福祉事業や公益事業に邁進してきたところですが、個々の社会福祉法人によるこれまでの取組みに加え、地域福祉の担い手として、複数の法人の連携・協働による更なる地域社会への貢献が求められております。

社会福祉法人が今までの事業の中で培ってきた専門性や人材、地域貢献活動で積み重ねてきた経験を活かし、分野の垣根を越えて連携・協働し、実践することで、社会福祉法人の存在意義がより明確に伝わり、地域共生社会の中で、私たち社会福祉法人が担う役割が地域社会から期待され、その責任を負えると考えます。

岐阜市社会福祉法人連絡会は、一法人では対処できない課題解決を通じ、市内の全ての社会福祉法人が地域社会から信頼され、それぞれの地域における身近な社会福祉拠点として必要不可欠な存在となるよう、設立の趣旨に添い、社会福祉の一層の発展のため皆様とともにさらなる努力を続けてまいります。



会長 松原 隆行

法人連絡会 役員

会長	社会福祉法人 長良福祉会	松原 隆行
副会長	社会福祉法人 豊寿会	豊田 雅孝
監事	社会福祉法人 岐阜老人ホーム	林 武
監事	社会福祉法人 いびき福祉会	池田 光己

敬称略

今後の研修会のご案内

・岐阜市社会福祉法人連絡会 主催

「大規模自然災害と地域連携」

講師：びわこ学院大学 烏野 猛 教授
日時：令和3年12月2日(木) 14:00~16:00 (受付 13:30)
会場：ワークプラザ岐阜 又は オンライン(ZOOM)
申込：岐阜市社会福祉協議会(事務局)



講師プロフィール

びわこ学院大学 教育福祉学部 学部長 教授、(株)福祉リスクマネジメント研究所 所長、(一財)烏野財団 代表理事。現在、岐阜県 福祉施設防災対策委員会委員長のほか、福島県 老人福祉施設協議会 災害対策委員会委員、(公社)全国老人福祉施設協議会 災害対策委員会委員を兼任。「災害時における特別養護老人ホームのリスクマネジメント調査研究事業」委員長、「特別養護老人ホームにおける災害時の事業継続計画・復旧(BCP)に関する調査研究事業」委員長を歴任。

その他 研修会の案内

・岐阜県老人施設協議会×岐阜病院 主催

「災害時メンタルヘルスとその対応」

日時：令和4年1月18日(火) 14:00~15:00 (受付 13:45)
開催方法：オンライン(ZOOM)
申込：未定 (決まり次第ご連絡します)

岐阜市社会福祉法人連絡会会費納入のご案内

本会事業推進のため格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

・会費
・振込先




納入期限 令和3年12月15日

問い合わせ↓↓↓

岐阜市社会福祉協議会 Tel:058-255-5511


わたしたちが 岐阜市社会福祉法人連絡会のメンバーです

 社会福祉法人
瑞鳳会

・ハートンこまづめ認定こども園
令和2年9月新園舎完成 定員116名
・特別養護老人ホーム
ハートステージ鳳
ユニット型介護福祉施設 定員100名

社会福祉法人
イーストヘルスケアソサエティ

当法人は自治会、民生委員、各種団体と連携しながら地域の問題を共有するよう努めています。当座、自治会勉強会の参加、環境整備(草刈り)を定期的に行っています。

 人権尊重と非営利
社会福祉法人みどり福祉会

人と人が暮らしを支えあうことで、誰もが居心地の良い場・施設を提供していきます。私たちは、地域の中で必要とされる高齢者介護・施設運営に取り組んでいます。

社会福祉法人
岐阜老人ホーム

信頼関係の上に立った
福祉サービスの
実践を目指します。

社会福祉法人
興生会


岐阜市社会福祉法人連絡会の発足を寿ぎたいします。岐阜市民のお役に立つ社会福祉法人としての進展を祈念申し上げます。

社会福祉法人
舟伏


当法人は、隣接の岐阜病院と医療と福祉の機能分化を目指し、平成20年に創設された。相談、生活、就労、保育、就業・生活支援センターを運営し、幅広く障がいを持たれる方を支援します。

社会福祉法人
岐阜アソシア


ともに生きる社会づくりを
私たちは眼が見えなくなること失われる情報、外出、日常生活等を、ともに進むことで可能にしていくことを目指しております。図書貸出、各種訓練、外出指導など多岐にわたる事業を実施しております。

 社会福祉法人 **和光会**


私たちは和光会グループとして、岐阜における地域包括ケアシステムのモデルとなるべく、誇りを持ってサービスを提供し、ご利用者やご家族、地域の方々に信頼される法人をめざしています。

 社会福祉法人
英集会


私たちは、医療法人社団英集会とも緊密に連携し、障がい者とその家族の皆様を医療、福祉の両面から支えるとともに、農業分野にも活動の場を広げ、利用者の皆様のライフステージに寄り添いながら、様々な事業を展開しています。

 社会福祉法人
清穂会

清穂会は、障がい者就労事業所を運営しています。いろいろな仕事との機会の提供をしています。岐阜市内で農業バナナも栽培しています。今後とも宜しくお願いします。

 社会福祉法人
豊寿会


「誠実と笑顔で社会に貢献」
サービスを利用される利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員、法人に関わるすべての皆様の幸せをめざして日々頑張ります！

 社会福祉法人
長良福祉会

「ともに生きる」をテーマとして健康教室の開催など地域の公益的な活動に取り組んでいます。

社会福祉法人
誠広会

誠広会は、利用者の皆様の意向を尊重し、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう創意工夫するとともに、提供するサービスの質の向上に努め、地域福祉の推進に寄与してまいります。

 社会福祉法人 **岐東福祉会**
はなみずき苑

ご利用様が慣れ親しんだ地域の中で安心して生活を続けていくために、岐東福祉会では、近隣の社会福祉法人の皆さまと協力・連携して支援の輪をさらに広げていくように努めてまいります。

社会福祉法人
日本児童育成園

明治生まれの県内最古の児童福祉施設
“民が官をリードする” 創立以来、先駆的の実践を心がけています『子どもの笑顔を守りたい』
オレンジリボン運動を、是非一緒に。

社会福祉法人
長良川記念会

市内の社会福祉法人の皆様と協力しながら地域の公益的な活動等に積極的に取り組んでいけたらと思います。未熟ではございますが今後とも宜しくお願いします。

 社会福祉法人
千代田会

長久寿苑 (特別養護老人ホーム)
ウエルビュス明穂 (グループホーム・ケアハウス)
グストハウスこつど (小規模多機能型居宅介護)

私達は、地域社会からの信頼のもと、高齢者福祉の向上に努め、ご利用者から愛される施設づくりを目指します。

社会福祉法人
岐阜市社会福祉事業団


岐阜市により設立された外郭団体。その後、社会福祉法人として、自主運営主体の組織へとシフトし、現在は『つながる未来』をコンセプトに、児童、障がい児・者、高齢者施設等の25施設9事業を運営しています。

社会福祉法人
ともいき福祉会

“地域のため”に“進化”する
医療・介護・福祉
の
トータルサポート
グループ

社会福祉法人 **宝和会**
大洞こども園

平成30年度より、新たに保育所型認定こども園「大洞こども園」としてスタートを切りました。地域に根差したこども園として関係機関と連携を深め、社会福祉事業に貢献していきたいと思ひます。

 社会福祉法人
岐協福祉会

地域社会への貢献・人権尊重を大切に
した生活の場・「愛情と理解」をもって満足されるサービスの提供を理念とし地域の皆様から信頼され、親しまれる社会福祉法人を目指しています。

社会福祉法人
岐阜龍谷会


いつくしみあふれる
やすらぎとふれあいの苑～
当法人は、岐阜市西部の黒野に位置し、高齢者の介護福祉を支え、地域交流・貢献行事を大切にしています。

社会福祉法人
ポップコーン福祉会


多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型)を運営しています。
生活介護には、重度重複障がいのある方が多く通所しておられます。

社会福祉法人
いびき福祉会


どんな障害のある方も、生き生きと暮らしたいける地域社会の実現を目指し、障害のある方自身とその家族、職員、地域の人々が、力を合わせて活動していきます。

 社会福祉法人
井ノ口会

社会福祉法人井ノ口会は昭和59年に設立し、岐阜市を中心に6施設を展開しています。高齢者福祉を通じて、笑顔が溢れ、地域に信頼されるサービス運営に努めて参ります。

 社会福祉法人
幸紀会

社会福祉法人幸紀会は地元根付いた福祉ネットワークとして、ご利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援してまいります。

 社会福祉法人
岐阜市社会福祉協議会

誰もが住みやすい
福祉のまちづくりを目指して
岐阜市社協は、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる、福祉社会の実現を目指しています。